

平成 22 年度 木のまち・木のいえ整備促進事業

「木造住宅・建築物等の整備推進に関する  
技術基盤強化を行う事業」報告書

平成 23 年 3 月

一般社団法人木を活かす建築推進協議会

# 目次

## 第1部

1.1 本業務の目的

1.2 内容

1.3 委員構成

## 第2部

2.1 プラットフォームシステム構築

2.2 各種情報収集

1) 木造建築事例情報

2) 建築材料情報

3) 技術研究情報

2.3 技術開発

1) 構造耐力性能試験

2) 音環境性能試験

## 1.1 本業務の目的

公共建築物等における木材の利用促進法が公布された。しかし、近年の公共建築物等の多くは鉄筋コンクリートや鉄骨によって建設されてきたため、中大規模の木造建築に係る技術的研究への取組がほとんど行われず、また設計・建設ための情報も少ない。

そこで、木造による公共建築物等の建設促進のために、木造建築物設計に係る情報発信基盤としての「木造建築設計情報プラットフォーム（仮称）」をインターネット上に構築し、木造建築に係る各種情報の収集また技術開発等を行い、それらの情報をプラットフォームにて掲載し発信する。

## 1.2 内容

### (1) プラットフォームの構築

木造建築物建設推進のための情報発信基盤としての「木造建築設計情報プラットフォーム（仮称）」を構築する。

- 1) 情報発信対象者と情報発信内容の検討
- 2) プラットフォームシステム構成の検討
- 3) 情報発信内容の整理と体系化
- 4) プラットフォームの設計作製

### (2) 各種情報の収集

プラットフォームに掲載する木造建築に係る各種情報の収集を行う。

#### 1) 木造建築物事例情報

全国で建設された中大規模木造建築物の詳細情報を収集する。

#### 2) 部材・製品情報

中大規模木造建築物に使用される部材・製品等の調達先等の情報を収集する。（調達先等へのリンクを検討）

### 3) 技術開発情報

構造（接合部等）や防耐火等の技術開発情報等の収集を行う。

4) その他、収集が必要な情報の検討を行う。

## (3) 技術開発等

公共的木造建築の建設にあたり必要とされている技術的事項について開発等を行い、その結果をプラットフォームにて情報発信を行う。

### 1) 構造安全性能への対応

これまで建設された大中規模木造建築物の設計法（大断面集成材や接合部の設計法等）について、その内容分類を行うとともに中大規模木造建築物設計において最も重要な接合部について、標準的な金物の検討のための試験を行う。

### 2) 音環境性能への対応

木造建築物の音環境を整備するために、木造建築物の音環境性能要件の検討整理、木造既存建築物の遮音性能の試験検証及び木造建築の各部位の遮音性能試験法の検討を行う。

### 1.3 委員構成

#### ■木造建築設計情報発信検討委員会

- 委員長： 大橋好光 東京都市大学工学部建築学科 教授
- 委員： 小野 泰 ものづくり大学建設技能工芸学科 准教授
- 相馬智明 東京大学大学院農学生命科学研究科 助教
- 松川隆行 (財) 日本住宅・木材技術センター 専務理事
- 加来照彦 (株) 現代計画研究所取締役
- 大倉靖彦 (株) アルセッド建築研究所取締役副所長
- 平野陽子 (株) ドット・コーポレーション代表取締役
- 行政： 国土交通省住宅局木造住宅振興室

#### □プラットフォーム作成・情報収集部会

- 主 査： 大橋好光 東京都市大学工学部建築学科 教授
- 委員： 相馬智明 東京大学大学院農学生命科学研究科 助教
- 松川隆行 (財) 日本住宅・木材技術センター 専務理事
- 加来照彦 (株) 現代計画研究所取締役
- 大倉靖彦 (株) アルセッド建築研究所取締役
- 平野陽子 (株) ドット・コーポレーション代表取締役

#### □木造建築音環境検討部会

- 主 査： 安岡正人 東京理科大学 工学部建築学科 教授
- 委員： 井上勝夫 日本大学 理工学部建築学科 教授
- 藤井弘義 東洋大学 理工学部建築学科 講師
- 平光厚雄 (独) 建築研究所 主任研究員